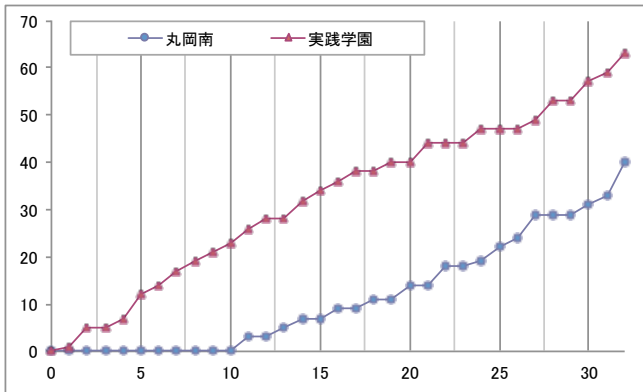




得点経過



大会名	平成28年度全国中学校体育大会 第46回全国中学校バスケットボール大会																
会場	トリムパークかなづ																
日時	2016年8月24日(水)	14:30															
コート	Aコート 第4試合																
カテゴリー	男 決勝トーナメント2回戦																
主審	佐賀 雄幸																
副審	若林 謙作																
TEAM A		TEAM B															
丸岡南 (福井)	40 ●	63 ○ 実践学園 (東京)															
	<table border="1"> <tr><td>0</td><td>1st</td><td>19</td></tr> <tr><td>9</td><td>2nd</td><td>17</td></tr> <tr><td>10</td><td>3rd</td><td>11</td></tr> <tr><td>21</td><td>4th</td><td>16</td></tr> <tr><td>-</td><td></td><td></td></tr> </table>	0	1st	19	9	2nd	17	10	3rd	11	21	4th	16	-			
0	1st	19															
9	2nd	17															
10	3rd	11															
21	4th	16															
-																	

BOXスコア

TEAM A		丸岡南						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	加藤 碧透 (CAP)	×	5	0	2	1	3	
5	竹内 雅也	×	6	1	1	1	0	
6	藤田 隼輝	DNP	0	0	0	0	0	
7	伊東 柊汰	DNP	0	0	0	0	0	
8	北島 麗嗣	DNP	0	0	0	0	0	
9	森 広樹	DNP	0	0	0	0	0	
10	奥平 寿優	×	8	0	4	0	0	
11	浅川 航輝	DNP	0	0	0	0	0	
12	山内 絢佑	DNP	0	0	0	0	0	
13	土田 諒也	DNP	0	0	0	0	0	
14	大倉 秀太	×	11	1	0	8	3	
15	加藤 亮祐	×	10	2	1	2	1	
16	藤澤 和矢	/	0	0	0	0	0	
17	檀尾 颯汰	DNP	0	0	0	0	0	
18	吉岡 遼貴	DNP	0	0	0	0	0	
コーチ	竹内 明彦							
合計			40	4	8	12	7	

TEAM B		実践学園						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	五島 大成 (CAP)	×	12	0	6	0	2	
5	海貝 太一	×	11	1	4	0	1	
6	小宮山 駿帆	×	8	0	4	0	4	
7	江原 信太郎	×	15	1	4	4	1	
8	渡部 一輝	×	11	0	4	3	2	
9	島元 奏多	/	2	0	1	0	0	
10	野田 駿介	/	0	0	0	0	0	
11	足立 雅憲	DNP	0	0	0	0	0	
12	山口 流聖	DNP	0	0	0	0	0	
13	本間 合	DNP	0	0	0	0	0	
14	小森 颯太	/	0	0	0	0	0	
15	保高 優平	DNP	0	0	0	0	0	
16	露木 真弥	/	2	0	1	0	0	
17	櫻井 棕介	/	0	0	0	0	1	
18	齊藤 翔吾	/	2	0	1	0	1	
コーチ	森 圭司							
合計			63	2	25	7	12	

×…スターター /…出場 DNP…未出場 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

ベスト4をかけての開催地代表丸岡南と関東代表実践学園との一戦。丸岡南はハーフコートマンツーマン、実践学園はオールコートマンツーマンのDef。立ち上がりから実践学園がペースを握る。Offリバウンドを次々と奪い、#4、#5、#7が得点を重ねていく。実践学園の厳しいDefに対し、丸岡南#4がインサイド、#14のドライブなどで実践学園のゴールを脅かすが、丸岡南はなかなかシュートが決まらない。丸岡南0-19実践学園で1Q終了。2Qも実践学園のペース。#6のレイアップや#5の3Pなどで加点する。丸岡南は#5の3Pでようやく初得点をあげる。しかし、実践学園#7にインサイドを制され、リードを徐々に広げられる。丸岡南9-36実践学園で2Q終了。

3Q、丸岡南は持ち前の厳しいDefに戻り、少しずつリズムを掴んでいく。丸岡南は#10のドライブ、#15の3Pなどで得点していく。実践学園も#4のリバウンドシュートやミドルシュートで対抗し、点を取り合う展開になる。丸岡南19-47実践学園で3Q終了。最終4Q、丸岡南#4がインサイドプレーでバスケットカウントを奪うと、#14が厳しいDefからアンスポを取る。その後も地元の大応援に後押しされ、丸岡南が#15の3P、#14の1on1などで次々と得点を重ねていく。実践学園も#7、#8が高さを生かしたインサイドで応戦。残り2分、丸岡南はDefをオールコートプレスに切り替え、#14、#10の1on1のドライブからのシュートで追い上げるが、安定したプレーを見せた実践学園が40-63で勝ち、ベスト4に駒を進めた。最後まであきらめず、ひたむきなプレーを見せた丸岡南の選手達に、会場から大きな拍手が送られた。

記載者 満田 高弘 (所属) 福井県バスケットボール協会